

大逆転のためのラストチャンス - 最高の先生や仲間と共に -

経済学部経済学科 鈴木結大  
(長尾谷高等学校)

### 1. 大学入学前はどのように過ごしていましたか？

サッカー部に所属し、部活中心の生活を送っていました。結果、勉強はおろそかになっていたというのが偽らざるところです。

### 2. 上級キャリアコースに入ったきっかけ・理由は？

オープンキャンパスで、学生に真剣に向き合ってくれる大谷先生をはじめとした上級キャリアコース(以下、上キャリ)の先生方と出会えたことにくわえ、まだ「人生の大逆転」が可能という、熱意と実績に裏付けられた説明が心に響いたためです。実際、上キャリではHPに掲載されているように、上位校以上の就職成果を長年に亘り実現しています。

上キャリに参加するためにはいくつかの経路があるのですが、上キャリが第一志望であったこと、勉強は苦手でも対人能力に自信があったことからA0入試で受験・合格しました。

### 3. 上級キャリアコースは厳しいのか？

とても厳しいですが、人として社会人として当たり前のことを指導されるだけだということもできます。一般的にいうと、最近の学校教育はよいところを伸ばすことに主眼を置く一方で、悪いところを矯正するという点がおろそかになっているように感じます。しかしながら、上キャリでは両方について指導がなされます。結果、悪い点を指摘されることに慣れていない我々若い世代にとっては、厳しく感じることもあるのかもしれません。

くわえて、テストの順位や成績の多くが公表されますので留意してください。嫌だと思ってもいるかもしれませんが、上キャリメンバーは「自分の立ち位置が確認できる」と肯定的に解釈します。つまり、自分の順位がしっかりと確認できるからこそ、努力が足りているのかどうか、学習方法が適切なのかどうかをチェックし、さらなるステップアップにつなげることができると考えています。

### 4. 上級キャリアコースで活躍するタイプは？

向上心がある人、夢や目標がある人、コミュニケーション能力が高い人、予習・復習をしっかりする人でしょうか。換言すると、何事に関しても無関心であったり、覇気がなかったり、基礎的なことができない人には向いていません。すぐにコースから脱落するだけですし、周りのメンバーの迷惑になります。

### 5. 上級キャリアコースの強みは？

就職実績でしょう。そして、それを生み出す「ヨコとタテのつながり」も重要なポイント

です。上キヤリでは、コース担当教員の大谷先生が長期休暇中も含めて週1、2回の無料課外講義をやってくださいますが、ここには1~4年の上キヤリ生のほぼ100%が参加しています。ということは、そこにいけば同輩とはもちろんのこと先輩たちとも仲良くなれるのです。そして、そのことが資格取得や就活の際に大きな効果を発揮するのです。資格取得や就活は一人で取り組むのは大変ですが、みんなで切磋琢磨すれば乗り切ることができます。

実際、勉強が苦手だった私でも、仲間との自主的な勉強会を通じて ERE(経済学検定)では A 評価を実現することができました。また、就活の際には先輩にとどまらず一流企業にお勤めの OB・OG のみなさんからの協力さえ得ることもできました。

## 6. 担当教員の大谷教授ってどんな人？

一人ひとりの学生に対して真剣に向き合ってくれる人。ただし、指導方法やノリは令和や平成ではなく昭和っぽい(笑)。以下は、私と仲間が執筆した大谷ゼミ卒業論文集のあとがきからの引用です。

『大谷先生は良くも悪くも今時の先生っぽくはない。今時の先生なら、良いところは伸ばしてくれても、悪いところを正してはくれないであろう。今時の先生なら、自身のプライベートも重視し、いつでもどこでも学生に付き合ってくれたりはしないだろう。一方で、大谷先生はそのどちらもやってくれた。常に愛情を持ちながら。無難な教育が主流となった今日、大谷先生は、令和の時代の反逆者と呼べる存在なのかもしれない。いや、それは持ち上げすぎか。昭和の生き残りといった方がベターかもしれない。』